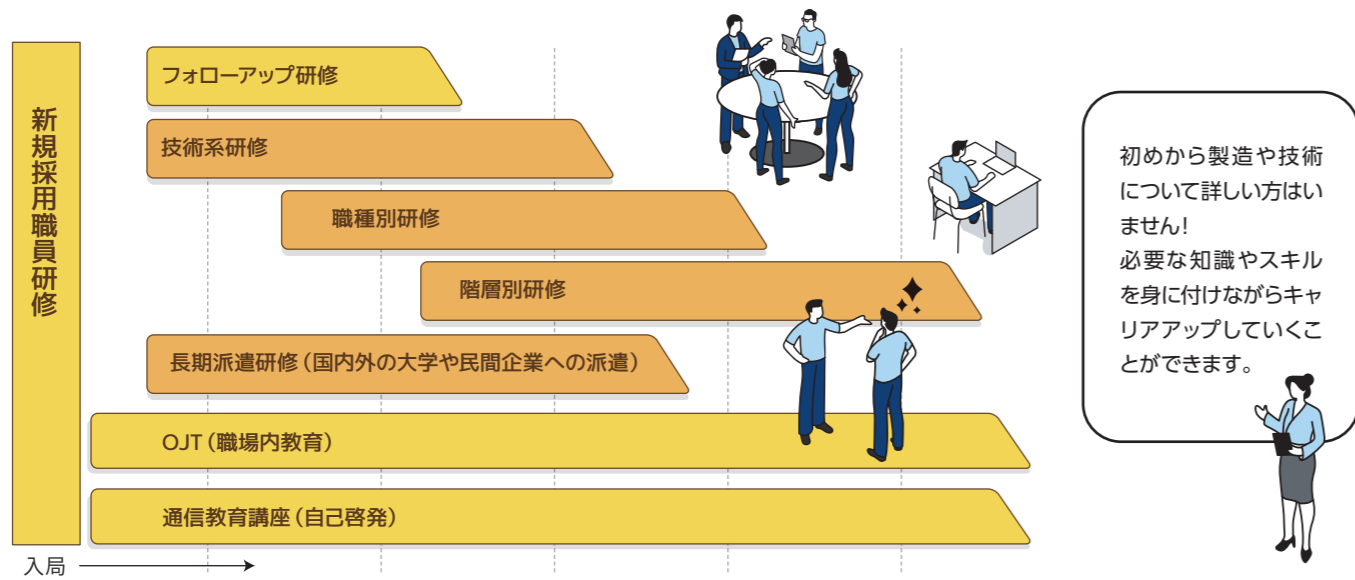


教育研修制度 EDUCATION & TRAINING SYSTEM

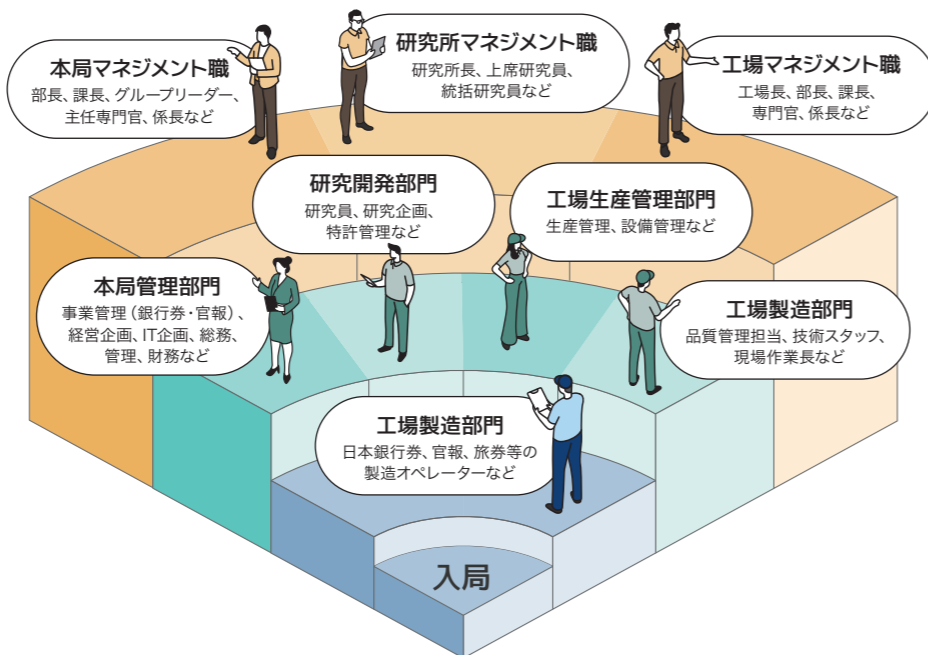


印刷技術や印刷機械について知識がなくても活躍できるのか、と不安に思う方もいるかもしれませんが心配は不要です。職員の組織への貢献と成長をサポートするため、職員の状態に応じた研修を実施し、「自ら考え行動できる人材づくり」を目指しています。入局1年目は、皆さんと比較的年齢の近い職員が新人の指導員となり、マンツーマンで仕事を教えます。仕事や生活面などで疑問や不安に思うことがあれば、指導員や上司に気軽に相談できます。また、製造技術に特化した研修も実施しています。『技術系研修』では、日本銀行券製造に関する基礎から専門的な内容まで学ぶこと

ができます。『職種別研修』では、知的財産や機械設計等、それぞれの業務に必要なとなる研修を行っています。また、デジタル人材の育成を推進しており、WordやExcelの基本的な操作から情報セキュリティやネットワーク構築などの専門知識まで学ぶ機会があります。また、『長期派遣研修』では、1~2年間国内外の大学や民間企業で外部の知見を学ぶこともできます。また、仕事に関する通信講座を開講し、自己啓発をサポートしています。

キャリアパス CAREER PATH

入局後は、全国6か所にある工場に配属され、まず工場の製造部門の業務に従事します。製造部門で国立印刷局の製品知識や技術を習得し、ものづくりについて学ぶことにより、職員としての基礎を習得していただきます。その後のキャリアは多様な領域に広がっていきます。本局、研究所、工場の各職場には様々な業務があり、入局したらこの仕事しかできないということはありません。本人の希望や適性に応じて一定のジョブローテーションのもと多様な経験を積んでいき、将来的には各職場のマネジメント職として高いリーダーシップを発揮する人材へキャリアアップしていきます。理系出身の職員は、研究職や生産管理など、専門的な知識を活かした業務に携わることがあります。また、国立印刷局の事業と関連する中央省庁等へ2年程度出向し、業務経験を積む職員もいます。(例 財務省、外務省、内閣府、デジタル庁、金融庁、日本銀行など)



福利厚生 WELFARE BENEFITS

<p>有給休暇 20日 そのほか 病欠休暇、特別休暇 (夏季、結婚、出産、忌引、ボランティア等)</p>	<p>有給休暇取得率 79% ※2022年度</p>	<p>育児休業取得率 男性 76% 女性 100% ※2022年度</p>	<p>1か月あたりの 平均残業時間数 月13時間 ※2022年度</p>
<p>平均勤続年数 21.2年 ※2023年度</p>	<p>勤務時間 【本局・研究所】 8:30~17:15 【工場】 8:00~16:45 ※職場によって交替制勤務あり</p>	<p>諸手当 扶養手当・住居手当 通勤手当 超過勤務手当 など</p>	<p>各種制度 育児休業制度 介護休暇制度 テレワーク制度^{※1} フレックス制度^{※2} ※1.本局に制度あり ※2.本局・研究所に制度あり</p>

Real voice

国家公務員とはいうけれど… 入局してわかったリアル

お堅い人が多いイメージだったけど、実際には、仕事、プライベート両面で面倒見がよく優しい人が多い。

保守的なイメージでしたが、実際はかなり素早く改革が行われる組織で驚いた。

アクティブな趣味を持った人が多い熱量が半端ない。

「お札を印刷している」だけではないたくさんの仕事があることを知った。

私の専攻分野は今の業務に直結していませんが、考え方など、今まで勉強してきたことが支えになっています。学生時代に学んだことはどんな仕事でも活かせる!と感じます。

馴染みのない地域での就職は不安だったけれど、美味しいもの、自然、レジャー、方言など、楽しいことがいっぱいだった!

現場は若手職員が多く、プライベートでも仲良くしてもらっている。

製造工程でたくさんのお札を目にして感動! 今では「お金」から「製品」へ認識が変わり、ものづくりの楽しさ、難しさを感じます。

父親として2か月間程の育児休業を取得。家族との大切な時間を作ってもらえ、職場の皆さんの温かいサポートに感謝しています。